



世界に希望を生み出そう

会長 佐藤 友彦 幹事 櫻井 武志

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

佐藤 友彦

皆さん、こんにちは。本日も例会に出席頂きましてありがとうございます。先程、斉唱したロータリーソング(それでこそロータリー)ですが、以前から少し気になっていました。歌詞にありますどこで会ってもやあとと言おうよ!今の時代、人に会ってやあとという人なんて

居ないよな…。見つけた時にやおいと呼ぼうよ!なかなかおいて言わないだろう…。遠い時には手を振りあおうよ!これはそうだよな…。暇なのかそんなどうでも良いことを以前から思っていました。ただ、こうして例会の時に斉唱するたびに歌詞に書かれた光景が自然と浮かんできます。きっと作詞をしたのはロータリアンかなと思っただけでしたが、改めて気になり調べてみました。

矢野一郎さん(東京 RC)という方が作詞、作曲をされたようです。また、手に手つないでもこの方の作詞、作曲です。また、奉仕の理想は別の方ですが、東京 RC、京都 RC の方の作品です。調べてみて、やはりロータリアンの作品だと分かったわけですが、改めてその場の光景が映像化される素晴らしい歌詞だと思いました。企業でも地方自治体でもビジョンやコンセプトがあると思いますが最も大切なのは人が映像として描けるか(イメージ)出来るかだと私は思っております。我々が住み暮らす湯河原町は『湯けむりと笑顔あふれる四季彩のまち湯河原』というビジョンを掲げています。観光地、温泉地、四季折々の風景を連想させる非常にイメージしやすいものだと思います。併せましてビジネスという視点においてもイメージ化とブランド化は人々の購買意欲を高める手段でもあります。

そんな中で私が青年会議所時代に全国の地域活性化事業を担当した際に学んだ面白い事例一つご紹介致します。石川県羽咋市にある神子原地区の取り組みです。この地区は高齢化、過疎化が進み限界集落となっていました。米作りが盛んな地域でしたが農業従事者も高齢化していくと同時に品種改良や新しい技術の導入などに出遅れ収穫した米は農協の倉庫に山ほど残されて行き場の無い状況でした。そこに救世主の如く登場したのが高野誠鮮(タカノジョウセン)さんという方です。この方はお寺のご子息ですが一時的に羽咋市役所の臨時職員として採用され神子原地区の再生事業に係ったようです。では、この方がどのように限界集落を蘇らせたかという産業である農業(神子原米)をブランド化しました。天皇陛下やアメリカ合衆国大統領に献上する事も考えましたが神子原の文字の如く神に献上しようとローマ法王に献上したいと考え大使館と掛け合ったそうです。事は簡単には進みませんでしたが決して諦めない情熱によって献上する事が出来ました。その後はローマ法王が食べたお米として話題となり大

手スーパーをはじめ至る所から注文が殺到し瞬間に倉庫に眠っていたお米は完売となりました。そして、高野さんが凄いの売れなかったお米をただ売るだけではなく売る相手を新調に選びつつ売価を数倍に引き上げたことです。結果、限界集落であったこの地域にはこの取組を学びに来る方で溢れ、当然ながら人が集まればカフェなどの施設がオープンしました。その他にも農業や他のビジネスを行う若者が県外から移住し大きく活気付きました。結論として人はイメージによって高価であっても欲しいと思うという事です。まさしくファッションにおけるハイブランドの販売戦略も同じですね。本来はもっと掘り下げてお話ししたい所ではありますが、時間の関係もございますので終わりとさせていただきますがこの取組はカンブリア宮殿はじめ多くのメディアでも取り上げられていますので、ご興味のある方は是非ご覧になって下さい。

ありがとうございました。

幹事報告

1. 米山月間卓話者派遣について

卓話日:10月27日(金)12:30~13:30

卓話者担当:安江 仁孝(やすえまさたか)様

<卓話者:米山奨学生>

氏名:アラジ, ヤ アブドラジス オ 世話クラブ:小田原 RC

大学:東海大学 国籍:サウジアラビア 性別:女性

連絡先 TEL:080-4366-2302

E-mail: yaraaziz905@gmail.com

<随行者>

氏名:立川 公一(たちかわこういち) 所属:小田原中 RC

委員会役職:米山学友委員会 副委員長

連絡先:TEL:090-1121-8577

E-mail: koichi@tachikawa.org

※ ホームクラブを含め、奨学生・学友には卓話の謝礼として1万円をお願い致します。

連絡事項

1. 次週は規定により休会となります。10月の例会は、6日通常例会、13日山もみじの下草刈り、20日、27日の通常例会です。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名

会員 22名 欠席5名(免除者0名)

出席率 77.27%

前回の修正出席率 77.27%

前々回の修正出席率 86.36%

事前メイクアップ 1名

(スマイルボックスは次号に掲載します)

1905.02.23 ポール・ハリス(弁護士)、シルベスター・シール(石炭商)、ガスターバス E、ローア(鉱山技師)ハイライム・ショーレー(仕立屋)の4名がローアの事務所に寛容と友情を求めて初会合を開いたのがロータリーの始まりと言われ、毎年2月23日を創立記念日と定めています。

ロータリーの名称は、会合場所を毎回輪番で開いていたことが由来とのことです。会員は寛容と友情で結ばれ安心して仕事を頼むことができ、次第に増えていきました。職業は1業種1名で信頼のおける人に入会して頂いておりましたが、現在は会員増強を目的にその枠が外れました。

ロータリーの創設者ポール・ハリスや創立当初のメンバーは会合に出席する事により、その会員を信頼出来るか、仕事上お付き合いが出来るかの人間性を観察し、そのうえで職業上のお付き合いに進まれました。その仕事上のお付き合いからそれまでになかった会員からの売上げや信頼関係が増し、利益が出ることによってその職業が一層安定してきます。ロータリーとは会員同士だけが利益を得るのではなく、奉仕活動にも目を向けねばとのことで当時ずさんだシカゴの街で何が必要なのかをメンバーと市の関係者との話し合い、公衆トイレを作ったのが奉仕活動の初めと言われています。奉仕活動を全体で行い勉強し、その中から会員は個人として出来ることをするというのがロータリーの考え方です。(ロータリーの友2021,05~06)で23,34が決議されこれが奉仕活動の基本となりました。

湯河原 RC では「ロータリーとは”親睦と奉仕”」と言われていています。湯河原 RC を作り、初代、2代目の会長をされた天野弘之さんの基本的な考え方は、親睦の中から信頼関係が生まれ、取引関係が発生し、その中から出た利益の中から少しばかりでも無理のない範囲で奉仕に回すというものでした。これからも“親睦と奉仕”を基本に活動されたいと思います。(天野弘之さんは神奈川、静岡、山梨の3県が一つの第359地区の時にガバナー要請が来たが湯河原クラブは弱小クラブなのでお断りした。そういう控えめな方です。)

【ロータリーの目的】

1906年1月にシカゴクラブで2項から成なる最初の綱領が制定され、その後何回か改正され現在にいたっています。ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。具体的には次の各項を奨励することです。

第1 知り合いを広める事によって奉仕の機会とすること;(クラブ奉仕)

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること(職業奉仕)

第3 ロータリアン一人一人が個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること;(社会奉仕)

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること;(国際奉仕)

【4つのテストについて】

月初例会で唱和しています。言行はこれに照らしてから1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか。1932年ハーバート・テラーが倒産寸前の会社を救済する方法として創案したもので非常に効果的な方法であることが分かり、1943年1月 RI 理事会はロータリーに採用を決定しました。

【湯河原ロータリークラブについて】

【次年度会長、委員会編成】

指名されたら余程の事情がない限り受けていただきたい。会員忙しいのは皆同じですから。委員会編成も同じでありませんが、自分の希望したい委員会があれば事前に次年度会長にお願いします。

【会員選考】

情報集会で名前が挙がった方について、一人でも反対があると入会が出来ません。反対の会員がいないのを確認してから候補者にお話をしてください。

【会場監督(SAA)】

ガバナー公式訪問の時、ガバナーが会場監督は例会での全ての権限があるとされました。その通りですから遠慮なく進めることができます。

【出席】

例会を欠席したら他クラブへの出席(メイクアツプ)をしていただけたらと思います。そのクラブの良さや会員と知合いになるなど色々良いことがあります。

【社会奉仕活動】

屋外での奉仕活動の場合、傷害保険を掛けるようにしてください。

【ロータリーソング】

歌は公式にはありません。例会で歌を歌う習慣は1905年頃シカゴクラブで親睦が崩れてきたクラブに和やかさと友情を取り戻すために提唱し、著しい効果があったのが始まりでした。ロータリークラブはアメリカが発祥の地のため、日本では第2次世界大戦の時に敵性の会であるとみなされてしまいました。憲兵が会を見張っていたので最初に国歌である“君が代”を歌ったとのことです。

【会計】

年会費の中にロータリー財団と米山奨学金基金を含めていますから、その分が他のクラブに比べて高くなっています。

【スマイルボックス】

スマイルの収入年間予算はこのところ60万円です。一人当たり約3万円です。各会員の誕生日、連れ合いの誕生日、結婚記念日、入会記念日の4つで7千円。全員一斉にはロータリー創立記念日、湯河原 RC 創立記念日、新年度第一例会、終戦記念日、新年第一例会等で合わせて5千円、計1万2千円。あとの不足分1万8千円をスマイルということになります。スマイルはニッコリ笑って浄財を寄付するものですから本人や家族の方で良いことがありましたらスマイルを出していただきたいです。スマイルの浄財は本会計には繰り入れ出来ません。

【ロータリアンの3大義務】

1 例会に出席 2 会費の納入 3 ロータリー誌の購読

編集：常盤孝司(9月会報担当) / クラブ会報委員会